

ご使用になる前に必ずお読みください

本紙記載の内容は、VME ビルトインコントローラの機種名ラベルに **B** マークがついているユニットが対象です。

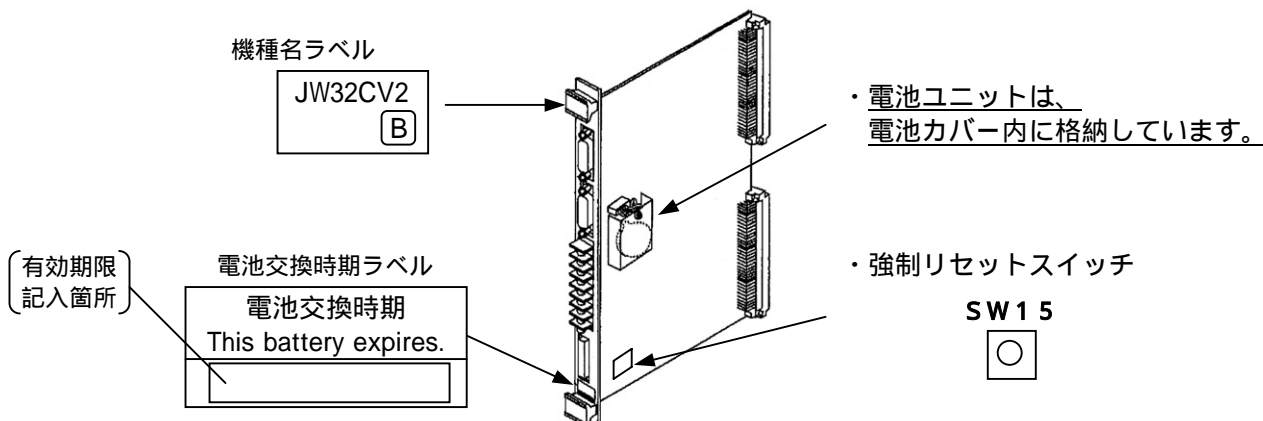
(例) JW32CV2
B

〔1〕メモリバックアップ用電池について

VMEビルトインコントローラ (JW-32CV1 / JW-32CV2 / JW-32CV3) のバージョン **B** からは、電池 (メモリバックアップ用) の消耗を防止するため出荷時に電池ユニットは本モジュールの電池コネクタに接続しておりません。

従いまして、出荷時のメモリは不定になっておりますので、ご使用になる前には必ず電池ユニットのコネクタを本モジュールの電池コネクタに接続し、サポートツールを使用して、「メモリのクリア (初期化) 」および「時計の時刻合わせ」を行ってください。

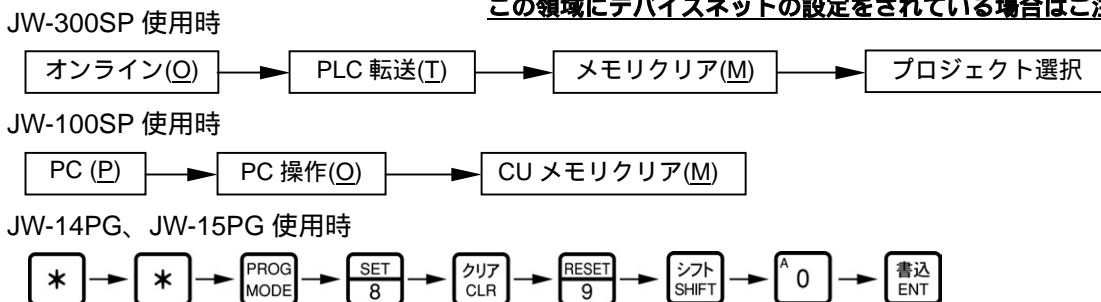
また、電池の有効期限を、お客様の使用条件 (通電 / 非通電状態の比率) からご算出いただき、ラベル (下図) に記入してください。 本紙裏面〔2〕電池の交換について をご参照ください。



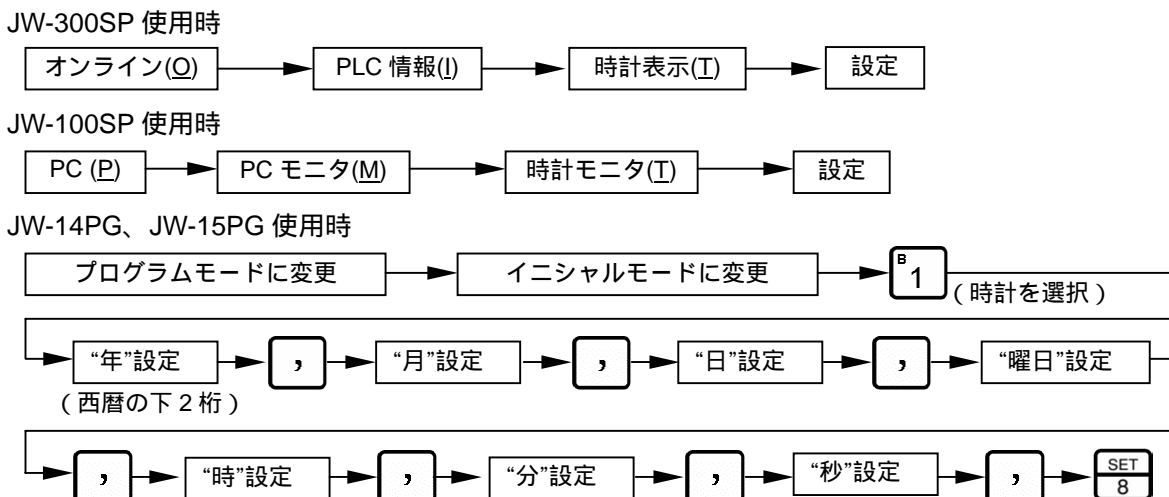
サポートツールの操作方法 (詳細は、各種サポートツールマニュアルをご参照ください)

(1) メモリクリア (オールイニシャライズ)

システムメモリ #500 ~ 577 もクリアされますのでこの領域にデバイスネットの設定がされている場合はご注意ください。



(2) 時計の時刻合わせ



(裏面もご参照ください)

〔 2 〕電池の交換について

（ 1 ）電池の寿命と交換時期

電池の最大有効期間は、5 年間です。

電池の寿命は本モジュールへの通電 / 非通電の使用時間比率によって変わりますので
ご注意願います。電池の寿命については、以下のとおりです。

通電時間	周囲温度 (55)	平均周囲温度 (25)
連続非通電 (通電時間率 0%)	1.1 年	2.2 年
連続通電 (通電時間率 100%)	5 年	5 年
年間 365 日 2 時間通電 / 日	2.7 年	5 年
年間 245 日 8 時間通電 / 日	2.5 年	5 年

実使用時のめやす (平均周囲温度 25)

$$\text{電池寿命}_{(年)} = \frac{20000}{\text{年間非稼働日数}_{(日)} \times 24_{(h)} + \text{年間稼働日数}_{(日)} \times (12_{(h)} - 1 \text{日の通電時間}_{(h)})}$$

非稼働日とは、1 日の本モジュールへの通電が 30 分未満である日のことです。

稼働日とは、1 日の本モジュールへの通電が 30 分以上である日のことです。

1 日の通電時間が 12 時間以上である場合は、1 日の通電時間を 12 時間としてください。

電池寿命は、電池の自己放電の影響により計算結果にかかわらず最長 5 年です。

（ 2 ）電池電圧低下検出と交換

電池の寿命により電池電圧が低下すると、本モジュールが電池電圧の低下を検出し、赤色の異常 (FLT) ランプが点灯し、特殊リレー-007372 が ON となり、システムメモリ #0160 にエラーコード 22_(H) が格納されます。この特殊リレーの状態を外部へ出力し、本モジュールの異常検出として利用下さい。特殊リレー-007372 が ON になった後でも、規定時間内はデータを保持しますが、できるだけ早く、電池を交換してください。

ご使用の状況に合わせて、定期的にメモリバックアップ用電池の交換をお奨めします。

（ 3 ）ユニットを保存される場合

本モジュールを非通電状態で保存される際、メモリのバックアップが不要な場合は、電池コネクタを外してください。

留意点

・電池の接続は、本モジュールへの通電直前に実施してください。

電池を接続したまま、非通電状態で放置すると、電池の寿命が短くなります。

〔 3 〕強制リセットスイッチについて

本モジュールには強制リセットスイッチ (本紙表面の図に記載している SW15) があり、このスイッチを押しながら電源を入れるとプログラムモードにかかります。

ユーザープログラム中で無限ループが形成されたり、プログラマが操作できなくなったりした場合にお使いください。

各種サポートツールマニュアルは、弊社ホームページ (<http://www.sharp.co.jp/sms/>) にも掲載しております。